

## 19. 船員労働の概況

### [1] 船員の最低賃金の概要

令和5年度、国土交通大臣決定の最低賃金は、大型いか釣りを除く業種が諮問され、改正が行なわれた。  
九州運輸局長決定の最低賃金は、4業種全てについて、令和5年9月6日に諮問され、改正に向けての作業が進められている。

#### (1) 内航鋼船及び木船運航業最低賃金(月額)

表-3

賃金額 適用地域	最低賃金					効力発生 年月日
	職員		はしけ長	部員		
		(注)若年船員		海上経験3年 未満の部員		
全国	円 258,950	円 242,500	円 —	円 200,350	円 191,050	R6.2.21
九州運輸局	252,300	235,850	252,300	193,700	184,400	R5.6.8

(注) 若年船員 船舶職員養成施設のうち特定の養成施設の課程を修了した後の勤務期間が、当該課程ごとに定める期間に満たない者

#### (2) 海上旅客運送業最低賃金(月額)

表-4

賃金額 適用地域	最低賃金		効力発生 年月日
	職員	部員	
全国	円 255,750 事務部職員 200,750	円 192,900	R6.2.21
九州運輸局	247,000	180,000	R5.6.8

#### (3) 漁業最低賃金(月額)

表-5

賃金額 適用地域	最低賃金(一人歩船員)				効力発生 年月日
	かつお・まぐろ	大型いか釣り	沖合底びき網	大中型まき網	
全国	円 203,300	円 203,300			R6.3.9
九州運輸局			円 188,200	円 199,300	R5.6.8

## 〔2〕 船員職業安定業務の概要

### (1) 求人概要

令和4年の新規求人数は3,165人で、全国の14,205人に対し、22.3%となっている。  
新規求人3,165人のうち船種別求人状況は、商船等2,768人、漁船397人となっている。  
船員不足により、求人票登録が複数回継続して再登録となる事業者も散見されている。

### (2) 求職概要

令和4年の新規求職数は1,180人で、全国の3,498人に対し、33.7%となっている。  
新規求職1,180人のうち船種別求職状況は、商船等1,158人、漁船22人となっている。  
50歳以上の求職者が6割以上を占めている。

### (3) 成立状況

令和4年の成立件数は192件で、全国の856件に対し、22.4%となっている。  
成立件数192件のうち船種別成立状況は、商船等186人、漁船6人となっている。

船員職業紹介実績は表-6のとおりである。

表-6

(令和4年)

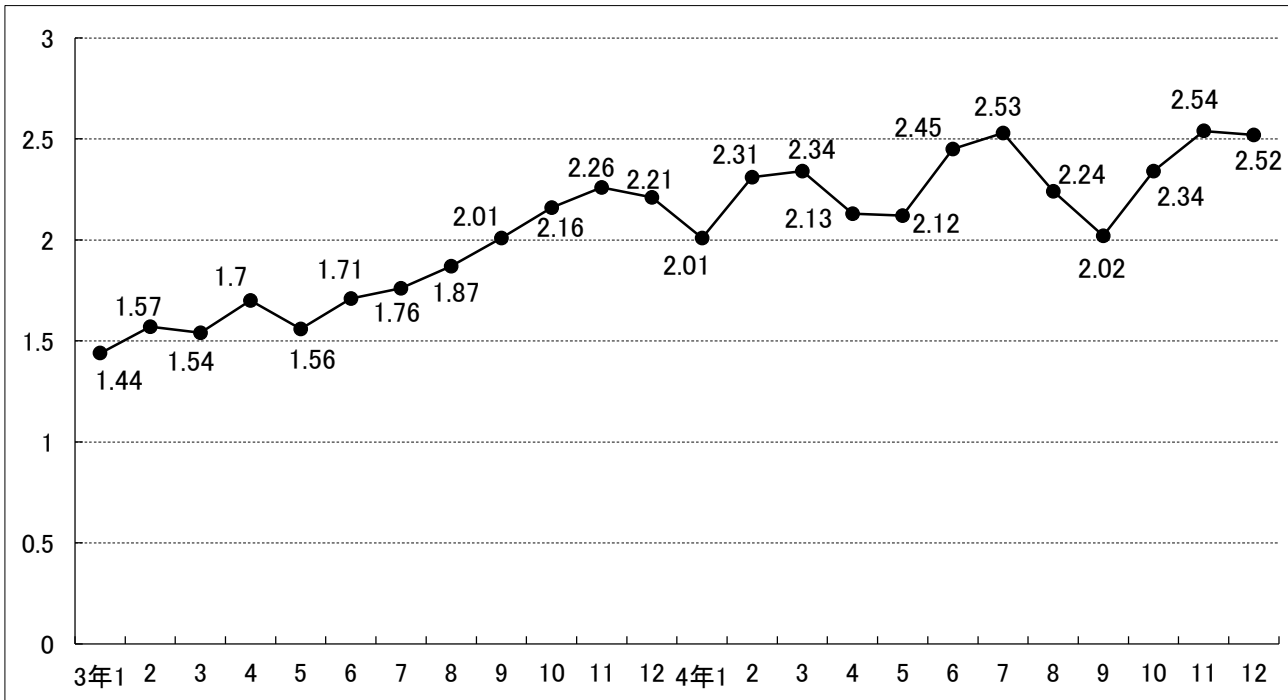
局 別 \ 区 分	新規求人 申込数(人)	新規求職 申込数(人)	成立数(件)
本 局	265	177	30
福 岡	211	35	5
若 松	386	39	16
長 崎	494	152	19
佐 世 保	225	136	16
熊 本	468	159	34
大 分	367	104	29
宮 崎	21	183	4
鹿 児 島	427	126	15
下 関	301	69	24
計	3,165	1,180	192

**(4) 有効求人倍率概要**

令和4年末の有効求人倍率は、2.52倍であった。(有効求人倍率月別推移は表-7のとおりである。)  
 全国は3.72倍で管内の有効求人倍率より1.2ポイント高くなっている。これは、管内の九州・山口地区においては、伝統的に全国船員の供給地であることから求職者が多く、有効求人倍率は全国より低くなっているためである。

表-7

管内月別有効求人倍率の推移



**(5) 船員失業保険金支給概要**

令和4年における雇用保険の失業給付の支給延件数は670件で、全国の1,842件に対し、36.4%となっている。船種別では、商船が625件、漁船が45件となっている。

なお、失業等給付の給付金は概ね9千3百万円で、全国の2億7千2百万円に対し36.8%となっており、受給者実数は573人で、全国の1,616人に対し35.5%となっている。

船員失業保険金支給実績は表-8のとおりである。

表-8

(令和4年)

局別 \ 区分	受給者実数 (人)	支給件数 (件)	支給金額 (円)
本局	59	68	8,232,896
福岡	1	1	107,655
若松	8	10	1,224,599
長崎	39	45	5,443,361
佐世保	53	64	6,578,173
熊本	136	170	24,690,632
大分	50	54	7,980,670
宮崎	134	141	21,164,051
鹿児島	57	71	9,919,084
下関	36	46	7,631,858
計	573	670	92,972,979

### 〔3〕 海技者セミナーの概要

令和5年6月14日北九州市において、船員の雇用の促進を図り、求人者と求職者を一同に集め企業説明や就職面接を集中的かつ効率的に行うことを目的とした「めざせ!海技者セミナー in FUKUOKA」を開催した。

海技者セミナーは、平成17年度の「船員就業フェア」から始まり、名称を「海へのチャレンジフェア」、「めざせ!海技者セミナーin FUKUOKA」と変えて今回で19回目となる。企業ブースの他に海技資格等の相談コーナーを設置して来場者の相談を受けている。

海運事業者は過去最多の47者と、海上技術学校生及び水産系高校生等215名の参加があった。

船員不足解消の方策として、当セミナーはミスマッチの解消、より多くの若者の就職につながる事が望まれている。

開催状況は表-9のとおりである。

表-9

回数	年度	参加事業者数(者)	参加者数(人)		
			学生	一般	計
1	H17	20	29	35	64
5	H21	20	96	30	126
10	H26	25	175	27	202
11	H27	24	187	43	230
12	H28	35	196	38	234
13	H29	38	206	55	261
14	H30	41	197	45	242
15	R1	35	227	40	267
16	R2	30	120	12	132
17	R3	31	180	30	210
18	R4	32	224	19	243
19	R5	47	203	12	215

(注) 学生は、海上技術学校、水産系高校、商船系高等専門学校、海上技術短期大学校、水産大学校等の在校生である。